



第18回JR連合青年女性役員研修会

JR四国労組

検索



本研修会の目的

**2019/3/21~22 開催
総勢 33 名の青女役員が参加！**

1987年4月、国鉄分割・民営化により、全国6社の旅客会社と1社の貨物会社が発足しました。そして、国鉄時代から繰り返されてきた鉄道労働運動の対立と分裂の歴史に終止符を打ち、新たなJR労働運動の創造を目指して、JR連合は1992年5月に結成し、今年で27年となります。これまでの諸先輩方の努力によって、JRを代表する産業別労働組合となっていますが、様々な課題があるのも事実です。魅力あるJR産業をつかっていくためには、さまざまな政策課題の解決に取り組む必要があります。そのためには、政治との関わりが重要となります。

本研修会を通じて、今後も学習を続けていく「気付き」や「きっかけ」にしていきます。

本研修会の大きな目的 3項目

1. JR連合を取り巻く現状と課題を認識する。
2. JR連合の取り組む政策課題について理解を深める。
3. 全国の仲間との交流を深める。



松岡会長

～(1日目)～

講義 「JR連合の取り組む政策活動」: JR連合中村交通政策部長

講義 「労働組合の政治活動」: JR連合中山組織・政治部長

特別講義 「JR連合と政治の関わり」: JR連合松岡会長

～(2日目)～

視察 「国会(議員会館)見学」

意見交換 「議員懇・フォーラム議員との意見交換」

グループ討議・発表 「振り返りと今後の取り組み」

第18回青年女性役員研修会



1日目は、JR連合の松岡会長、中村交通政策部長、中山組織・政治部長が講義を行い、JR連合の抱える諸課題とその解決にむけた政治との関わりや関係議員との連携などについて学習しました。

2日目は、国会見学を実施し、歴史や仕組みなどについて学ぶとともに、JR連合「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」所属の川合孝典参議院議員との意見交換も行いました。川合議員からは労組役員としての実体験を踏まえたさまざまなアドバイスもいただき、政治との関わりについてご教授いただきました。そして、5つのグループに分かれグループディスカッションを行い2日間学んだ事をまとめ、それぞれ発表しました。

今研修会で理解度を深める事ができたと同時に、共に活動を行っている全国の仲間が集まる事により、横の繋がりを感じることでできた大変有意義な研修会となりました。

